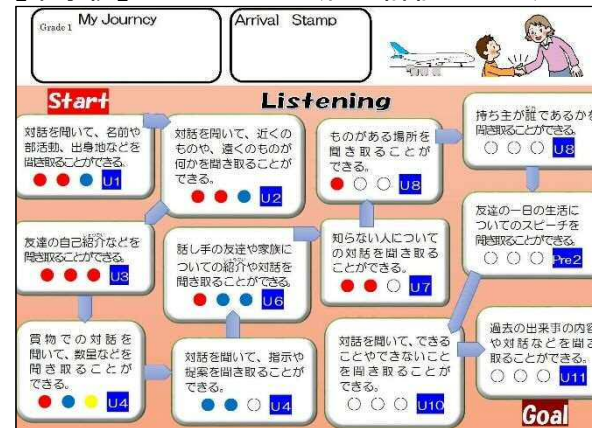


平成 29 年度版

【小学校】パスポート（自己評価シート）



【中学校】パスポート（自己評価シート）



☞ 児童生徒が「こんなことができるようになった」「次はこれができるようになりたい」と、自分自身で学びを振り返ることができるシートです。

【中学校：外国語（英語）科】2年生、3年生でのパフォーマンス評価の事例（一部）

題 材	実施時期	技能・領域	具体的な生徒の姿
買 物	2年学年末	Speaking 【やり取り】	相手に配慮しながら買物の会話を続け、目的の品物を手に入れることができる。
My Life Story	3年学年末	Writing	自分の過去、現在、未来について、出来事や思いを感想とともに述べながら、読み手が理解しやすいように語句や文を工夫したポスターを作成することができる。

☞ 2、3年生が1年間の学びの成果と課題を確かめるパフォーマンス評価の事例です。先生方には、五つの領域のバランスを意識した評価、支援を行う手立てとして御活用ください。

平成 28 年度版

コミュニケーション活動を充実させるために！

【小学校：外国語活動】単元の終わりで、自分の思いや考えを伝え合う活動例（一部）

単 元 [Hi, friends! 2]	主 な 活 動	活動に使用する表現
Lesson 4 Turn right.	「ドリームタウン」にある建物や施設への行き方を尋ねたり答えたりすることができる。	Where is~? Go straight. Turn right (left). など
Lesson 6 What time do you get up?	インタビュー活動を通して、自分の理想の生活時刻について伝え合うことができる。	I get up at ~. I have lunch at ~. など

☞ 英語の教科化、小中連携という観点を踏まえ、「Hi, friends!」を基に作成した学習指導案です。単元全体の流れやワークシート等を御活用ください。

【中学校：外国語（英語）科】3年生でのパフォーマンステスト例（一部）

単 元 [NEW HORIZON3]	実施時期	技能・領域	パフォーマンステストのねらい
Presentation 1 日本文化紹介	1学期中頃	Writing	ひな祭りなどの日本の文化を紹介するための英文を書く。
Unit 3 Fair Trade Event	1学期末頃	Speaking 【やり取り】	自分の行きたい国について、ペアで対話をする。

☞ 目的や場面、状況等に応じて自分の考えや思いを表現することができる力の育成を目指すとともに、各単元においてどのような力が身に付いたのかを測るパフォーマンステストの例です。

<事例編 リンク先> <http://www.pref.aichi.jp/kyoiku/gimukyoiku/index.html>

グローバル化に対応した  
新たな英語教育の在り方

グローバル化の急速な進展に伴い、世界に視野を広げ、世界との関わりの中で活躍できる人づくりが、喫緊の課題と言えます。そのような中、異なる言語や文化をもつ他者を理解し、尊重する態度を育むとともに、外国語によるコミュニケーション能力の向上を図ることが、ますます重要になってきています。

本協議会では、新学習指導要領の趣旨を踏まえ、平成28・29年度の2年間でグローバル化に対応した新たな英語教育の在り方について、研究協議を進めてきました。

そして、自分の思いや考えを伝え合う活動を取り入れた指導事例やパフォーマンス評価の事例、「分かる」「できる」を積み重ねていく自己評価シートなど、具体的な指導や支援の在り方を理念編、事例編にまとめました。

このリーフレットを実践や研修等で、ぜひ御活用ください。





# 英語によるコミュニケーション能力の育成を目指して ～ 新学習指導要領「外国語活動」「外国語〔英語〕科」の実践に向けて ～

## 小学校（中学年） 外国語活動

＜目標＞  
外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、話すことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る素地となる資質・能力を育成することを目指す。

【移行期間：平成 30・31 年度】

## 小学校（高学年） 外国語〔英語〕科

＜目標＞  
外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成することを目指す。

【移行期間：平成 30・31 年度は外国語活動】

## 中学校 外国語〔英語〕科

＜目標＞  
外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目指す。

【移行期間：平成 30～32 年度】

## 中学校卒業時に目指す姿

愛知県教育委員会版 CAN-DOリスト参照

聞くこと

ゆっくりはっきりと話された際に、  
・簡単な語句を聞き取る。  
・基本的な表現の意味が分かる。  
・文字の読み方が発音されるのを聞いて、どの文字であるかが分かる。

ゆっくりはっきりと話されれば、  
・簡単な語句や基本的な表現を聞き取ることができる。  
・具体的な情報を聞き取ることができる。  
・短い話の概要を捉えることができる。

はっきりと話されれば、  
・必要な情報を聞き取ることができる。  
・話の概要を捉えることができる。  
・短い説明の要点を捉えることができる。

聞くこと

・日常生活において必要となる基本的な情報を聞き取ることができる。  
・はっきりと話されれば、やや長い会話や説明など内容的にまとまりのある話を聞いて、背景知識を活用しながら、話し手の意図を理解することができる。



読むこと

・活字体で書かれた文字を識別し、その読み方を発音することができる。  
・音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かる。

・必要な情報を読み取ることができる。  
・短い文章の概要を捉えることができる。  
・短い文章の要点を捉えることができる。

読むこと

・物語や図やグラフの入った説明文など内容的にまとまりのある英文を読んで、背景知識を活用し、必要に応じて推測しながら、概要や要点、書き手の意図を理解することができる。

話すこと（やり取り）

・挨拶、感謝、簡単な指示をしたり、それらに応じたりする。  
・動作を交えながら、自分の考えや気持ちなどを伝え合ったり、サポートを受けて、質問をしたり質問に答えたりする。

・指示、依頼をしたり、応じたりすることができる。  
・自分の考えや気持ちなどを伝え合ったり、その場で質問をしたり質問に答えたりして、伝え合うことができる。

・関心のある事柄について即興で伝え合うことができる。  
・事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、伝え合うことができる。  
・聞いたり読んだりしたことについて、自分の考えや理由などを述べ合うことができる。

話すこと（やり取り）

・必要に応じて話し手に聞き返したり意味を確認したりして、対話を続けることができる。  
・聞き手に配慮しながら、聞いたり読んだりした様々なテーマについて対話することができる。

話すこと（発表）

・人前で実物などを見せながら、身の回りの物や自分のことについて話す。  
・人前で実物などを見せながら、自分の考えや気持ちなどを話す。

・身近で簡単な事柄について話すことができる。  
・伝えようとする内容を整理した上で、自分のことや自分の考えや気持ちなどを話すことができる。

・関心のある事柄について、即興で話すことができる。  
・事実や自分の考え、気持ちなどを整理して話すことができる。  
・聞いたり読んだりしたことについて、自分の考えや理由などを話すことができる。

話すこと（発表）

・簡単な語句や文、適切なつなぎ言葉を用いて、賛否、理由、感想を明確にし、聞き手の理解を確認しながら自分の意見や主張を話すことができる。



書くこと

・大文字、小文字を活字体で書くことができる。  
・語順を意識しながら、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写したり、例文を参考に書いたりすることができる。

・関心のある事柄について、正確に書くことができる。  
・事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、書くことができる。  
・聞いたり読んだりしたことについて、自分の考えや理由などを書くことができる。

書くこと

・聞いたり読んだりした様々なテーマについて読み手に配慮しながら、賛否や理由を添えた意見や感想を、簡単な語句や文を用いて書くことができる。

指導・評価のポイント

中学年では、外国語に慣れ親しませることを大切にしましょう。  
また、間違えても大丈夫という教室の雰囲気づくり等、安心して学べる授業環境を整えましょう。

高学年では、系統性を持たせた指導を行い、中学校の学習に円滑につなげましょう。  
特に、読むこと、書くことでは、児童が過度の負担を感じないように、段階を踏んで行いましょう。  
★事例編「平成 28 年度版 小学校外国語活動」の活用

中学校では、小学校の学習を踏まえ、5 領域をバランスよく指導しましょう。  
筆記テストだけでなく、自分の思いや気持ちを表現するパフォーマンス評価を取り入れるなど、多様な評価を行いましょう。  
★事例編「パフォーマンス評価事例」の活用

児童生徒が、「分かる」「できる」を実感し、意欲的に学び続けるために、自分の学びを振り返りながら、少しずつステップアップできるような支援や評価を行いましょう。 ★事例編「パスポート（自己評価シート）」の活用

「英語を使いたい!」「英語で伝えたい!」  
そんな思いを膨らませて次のステップへ。

